

D Xで阿蘇観光の課題解決

阿蘇市などが包括連携協定



包括連携協定の締結を祝い、テープカットする佐藤義興阿蘇市長ら（右から4人目）＝29日、阿蘇市。

阿蘇市、道の駅阿蘇（同市）、崇城大IOT・AIセンター、一般社団法人SCBラボ（いずれも熊本市）は29日、デジタルトランスフォーメーション（DX）推進による地域の課題解決と、人材育成を目指した包括連携協定を結んだ。

多くの観光客を集める道の駅阿蘇を中心に、阿蘇市が抱える観光面の課題をDX技術で洗い出し、解決する仕組みを考える。具体的

には、仮想現実（VR）で道の駅館内を再現し、買い物や実際の来館者との交流を実現するサービスの開発、人工知能（AI）を用いた混雑状況の予測、駐車場確保などを想定している。

この日の記念式典では、道の駅阿蘇の下城卓也駅長（55）が「DX技術で得た情報をマーケティングなどに生かし、阿蘇観光を盛り上げたい」とあいさつした。

（小田喜一）